

J R サービス 労「申」第 8 号

2 0 2 4 年 1 0 月 1 0 日

株式会社 関西新幹線 サービス

代表取締役社長 小松 修治 殿

J R サービス 労働組合

執行委員長 柳楽 関

2 0 2 4 年度 年末手当 及び 大阪・関西万博 に対する 一時金 に関する 申し入れ

J R 東海 の 令和 6 年度 第一四半期 連結決算 では、新幹線 の 運輸収入 は 前年 比 111%、3,188 億円 となり、コロナ 禍以前 の 平成 30 年度 比 においても 102% の 増収 となっている。在来線 を 含めた 全体 の 運輸収入 は 3,442 億円、前年 比 111% の 増収 となった。

それに 伴い、J R 東海 の 第一四半期 連結損益 は、営業収益 が 前期 比 で 110% の 4,352 億円、経常利益 は 前期 比 132% の 1,712 億円 となり、増収・増益 の 決算 と となっている。鉄道 を 利用 される 旅客 が 増えた ことが、増収・増益 となり、サービスの 各事業所 においても 業務量 は 増加 している。

J R 東海、サービスを 取り巻く 環境 は、好景気 需要 である。一方、日本 の 経済・物価 状況 を 見ると、2024 年に 通年 で 値上げ された 食品 は 1 万 2 千品目 を 超え、年間 の 平均 値上げ率 は 17% にも なる。消費者 物価 が 上昇 を 続けている にもかかわらず、実質賃金 は 大企業 の 正社員 に 大幅 な 賃上げ が 報道 された もの、ほとんどの 労働者 は、収入 は 横ばい であり、物価 上昇 を カバー できて いない 現実 がある。一部の 企業 では インフレ 手当 を 支給 するなど 物価 上昇 に対して 対応 策 を 講じて いる ところ も あるが、サービス においては 議論 の 俎上 にも 上がって はない。

また、来年、2025 年 4 月 には 大阪 の 地 で 大阪・関西万博 が 開催 される。その こと により、更なる 旅客 増 により 業務量 増 が 見込まれる。

よって、インフレ 対策、業務量 の 増加、社員 の 生活 の 質 の 向上 を 目指す ため に、下記 の 通り 申し入れ る の で、早急 に 団体交渉 を 開催 し 誠意 ある 回答 を 行う こと。

記

1. 社員。継続社員。契約社員の年末手当は、基準月額 \times 3.5箇月とすること。
2. パート社員の年末手当は、一律10万円とすること。
3. 大阪・関西万博に対する一時金は、2025年4月から開催期間中一律月額2万円を支給すること。
4. 回答は、2024年11月11日までにを行うこと。
5. 支給日は、2024年12月6日までにを行うこと。

以上